

2024 年 12 月 18 日  
インタラクティブ・システム・デザインレポート

# インタラクティブ・システム・デザイン 期末レポート（課題 1）

情報経営システム工学分野 B3

学籍番号 : 24336488

氏名 : 本間三暉

## 1 デザイン解の形式として可能なものを，3 個，あげなさい（各 20 文字以内）

1-1)

ポップアップ辞書 (8 文字)

1-2)

リアルタイム翻訳 (8 文字)

1-3)

単語マーカー支援 (8 文字)

## 2 そして、どのように選択を行うのか、また、その選択を行うのに問題定義の他の側面（「ユーザ」と「支援のレベル」）が寄与するのかについて検討しなさい

2)

選択は「ユーザの使いやすさ」と「支援レベル」を基準に行う。ポップアップ辞書はシンプルで初心者向け，リアルタイム翻訳は高度な支援を提供し，単語マーカー支援は中級者の学習向けである。「ユーザ」は文書を読む学習者や翻訳者であり，目的やスキルレベルに応じて最適な支援形式が異なる。「支援のレベル」は，タスク効率向上や認知的負担の軽減を基準とする。例えば，高度な支援ほど速読を可能にするが，ユーザの自主学習を妨げる可能性もある。したがって，ユーザの習熟度と必要な支援レベルを明確にすることで，適切なデザイン解が選択できる。(256 文字)

## 参考文献

- [1] インタラクティブ・システム・デザイン資料